

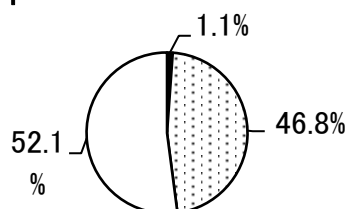
☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和8年4月～令和8年6月)

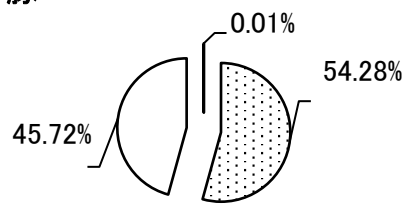
畜種	牛		とく		豚		山羊	
と畜検査頭数	966		0		17,751		0	
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
実頭数	11	452	0	0	1	9,635	0	0
廃棄の原因	放線菌症	0	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	518	0	0
	ジストマ	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	1	0	0	0
	敗血症	1	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	1	83	0	0	64	0	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	292	0	0	7,592	0	0
	変性萎縮	0	154	0	0	2,645	0	0
	牛伝染性リンパ腫	9	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	48	0	0	549	0	0
計	11	577	0	0	1	11,368	0	0

一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。

牛



豚

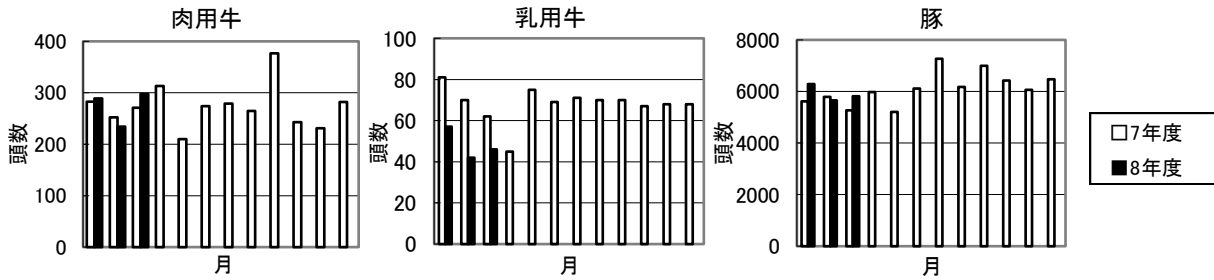


■ 全部廃棄 ▨ 一部廃棄 □ 廃棄なし

◎と畜検査頭数の推移（令和8年度）（とくを除く）

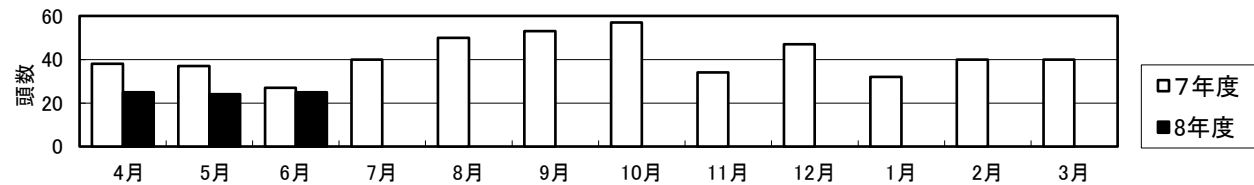
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7年度肉用牛	283	252	271	313	210	274	279	265	377	243	231	282	3,280
8年度肉用牛	289	234	298										821
前年比(%)	102.1	92.9	110.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
7年度乳用牛	81	70	62	45	75	69	71	70	70	67	68	68	816
8年度乳用牛	57	42	46										145
前年比(%)	70.4	60.0	74.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.8
7年度豚	5623	5792	5266	5972	5208	6108	7264	6171	7001	6426	6070	6480	73,381
8年度豚	6292	5649	5810										17,751
前年比(%)	111.9	97.5	110.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和8年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7年度	38	37	27	40	50	53	57	34	47	32	40	40	495
8年度	25	24	25										74
前年比(%)	65.8	64.9	92.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.9



4月～6月の病獣畜74頭の内訳は、牛が56頭、豚が18頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和8年4月～令和8年6月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	74	74	0	100.0
時間外(上記以外)	0	0	0	0.0
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	74	74	0	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和8年4月～令和8年6月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	8	1	2	32	7	2	2	1	0	0	19	74
(うち時間外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭数割合(%)	10.8	1.4	2.7	43.2	9.5	2.7	2.7	1.4	0.0	0.0	25.7	

☆検査室等における精密検査（令和８年４月～令和８年６月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数							診定頭数	否診定頭数
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子	病理組織		
牛及びとく	1	敗血症			8					1	0
	0	膿毒症								0	0
	1	尿毒症					1			0	1
	0	高度の黄疸								0	0
	1	高度の水腫	1							1	0
	9	牛伝染性リンパ腫					9		81	9	0
	0	腫瘍の多発								0	0
	0									0	0
	12	計	1	0	8	0	10	0	81	11	1
豚	1	敗血症			8					0	1
	1	膿毒症	1							1	0
	0	尿毒症								0	0
	0	高度の黄疸								0	0
	0	高度の水腫								0	0
	0	豚丹毒								0	0
	0	白血病								0	0
	2	計	1	0	8	0	0	0	0	1	1

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和８年４月～令和８年６月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10
	病畜	56	112	54	2	0	2	0	0	0	110
豚	保留	6	12	6	0	0	0	0	0	0	12
	病畜	18	36	18	0	0	0	0	0	0	36
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	8	16	8	0
豚	33	66	33	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和８年４月～令和８年６月におけるBSEスクリーニング検査数は０件であった。

（原因不明の神経症状又は行動異常を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所

TEL：086-272-8399

FAX：086-273-2019

E-mail：shokunikeiseikensasho@city.okayama.jp

郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。

1～3 ページについて、ホームページでも公開しています。

<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>